

《会員増強特別委員会からのお知らせ》

☆学生さんのアルバイト・インターンシップを募集中(会員外でも可です)

8月1日現在、アルバイトの募集は、意匠設計事務所1件、インターンシップは、意匠設計事務所1件、構造設計事務所1件有ります。希望者は事務局までご連絡下さい。

募集中・・・学生さんのアルバイト・インターンシップに協力いただける事業所。

☆クラブ活動募集中

参加申込書を7月のSTREETに同封しましたがまだまだ募集中です。申込書はHPにも有りますのでよろしくお願ひします。新しいクラブ活動も募集しています。

《交流委員会からのお知らせ》

☆建築士会主催のゴルフコンペを下記の通り開催いたします。

申し込み及び詳細は同封の案内をご覧ください。

- 日 時：令和5年10月28日(土)9時38分スタート
- 場 所：札幌リージェントゴルフ倶楽部(北広島市島松641)
- 参加費：2,000円、プレー代12,460円、ロッカー330円等は各自精算となります。
- 参加資格：原則として士会の会員、家族、知人です。(誰でもOK)
- 表彰式：競技終了後、2階レストランにて表彰式を行います。

《北海道建築指導センターからのお知らせ》

☆『令和5年度9月住宅講座のご案内』

- 日 時：令和5年9月29日(金)14:00～16:00
- 定 員：40名 ■参加費：無料
- 会 場：かでの2・7 7階「730研修室」(札幌市中央区北2条西7丁目)
- テ ー マ：「私らしい住まい・暮らしを考える」
～今の自分に合う住まいとは？何が大事で何が必要なのか？～
- 講 師：東 道尾氏 (一財)北海道建築指導センター 住宅相談員
一級建築士事務所自然 主宰(札幌市)
- 主催/お問合せ：(一財)北海道建築指導センター 企画総務課 TEL 011-241-1893
- 申し込み方法：案内チラシの申込書により、FAXでお申し込みください。
- 案内チラシはこちらから

https://hokkaido-ksc.or.jp/assets/files/06_event/R5.9_jutakukoza



☆『技術セミナーのご案内』

2025年に構造耐力関係規定の審査省略(4号特例)の対象が縮小され、木造2階建てについても確認申請時の構造審査が必要になります。基準法の壁量計算を1日で学ぶセミナーです。

- 日 時：令和5年10月11日(水)9:30～16:30 ■定 員：50名
- 受講料：一般(税込18,000円 テキスト代 税込3,667円)
BCJ正会員/KSC情報会員(税込15,000円 テキスト代 税込3,300円)
- 会 場：札幌市北区北6条西6丁目2番地 設計会館8階
北海道建築士事務所協会 会議室
- テ ー マ：「構造設計シリーズ/木造編」(基礎Iコース)
【基準法】<木造軸組構法住宅の壁量、N値の計算演習>

- 主催/お問合せ：(一財)日本建築センター(BCJ)情報事業部 TEL 03-5283-0477
- 共 催：一般財団法人 北海道建築指導センター(KSC)
- 申し込み方法：右記QRコードかBCJ講習会ページからお申し込みください。

<https://www.bcj.or.jp/seminar/>



テキスト販売中



《情報委員会からのお知らせ》

☆STREETの紙配布の取りやめについて

現在、連合会会誌と同梱して送付している札幌支部ニュース STREET のペーパーレス化を進めます。
(現在、最新版はHPに掲載中です) さらに、より早い情報提供をするためにメールアドレスを登録された支部会員の皆様へ、メーリングリストを利用した情報発信を行います。

メール配信ご希望の方は、下記アドレスよりメールアドレスの登録をお願いいたします。

<https://forms.gle/YndTjsJ2FDLCCc3pC7>

グーグルフォームに接続できない方はE-mail : hks.j@h-ab.com まで、お名前とメールアドレスを送ってください。

●北海道建築士会ホームページ“会員専用ページ”でオンデマンド配信中！

- 視聴方法：北海道建築士会HPの「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力
- 9月パスワード： Sya035

『失敗から学ぶ』 VOL.19

日々の業務でヒヤリ！ハット！した情報を活用して自分をスキルアップしよう

※今回のテーマ：【設備との取り合い】

- 受水槽上部の排水管は不可
監理者の現場巡回で受水槽上部の排水管不可を指摘された。
※受水槽上部は飲料用以外の配管は不可です。建築担当でも受水槽の設置基準の知識は必須です。
- 仕切りの無いEPS・PS
設計図の検図でEPS・PSが間仕切りもなく一部屋は不可と指摘された。
※水と電気の同居は事故を誘発するので完全に分離する必要があります。
またガス配管と電気配管の同居も消防からの指導で不可となります。
- EPS分電盤が点検できない
電気設備のEPS分電盤のすぐ前に引戸が設置されている。
※電気の分電盤等の点検扉は開き戸が多いので近接して引戸を設置すると点検時に支障となります。
- EPS電源盤の上部をルーフドレン配管が横断
設計図の検図でEPS電源盤上部のルーフドレン排水管横断は不可と指摘を受けた。
※電気設備分電盤や機器の上部に漏水の恐れがある配管の横断は大きなリスクを伴います。
- 電気室の上階にトイレは超ハイリスク
※電気室の上階にトイレや水回りがあると漏水時に大事故になります。
平面計画上でやむを得ない場合は2重スラブにして防水するなどの対策が必要です。

自習型認定研修の設問

設問 1

EPS・PSで正しいのはどれ？

- a. EPS・PSは納まらないとき一室にするのはやむを得ない。
- b. EPS・PSの配置は意匠設計者が配置を決定するのが望ましい。
- c. EPS・PSは維持管理を考慮した配置、スペースが必須である。

設問 2

受水槽室で正しいのはどれか？

- a. 受水槽室の設置基準は建築基準法で定められている。
- b. 受水槽上部は全ての配管横断が不可。
- c. 受水槽上部は給水管のみ横断可能。



認定教材の設問への回答は、CPD 情報システムのページ <https://jaeic-cpd.jp/> にアクセスのうえ、お願いします。
※不正の場合は、単位に登録できない場合があります。